

内郷村議戰特輯號

考案新

五月十五日廿日廿日廿日
定價 一月五錢 三月十錢 半年二十錢 一年四十錢
廣告料 第一頁五錢 第二頁四錢 第三頁三錢 第四頁二錢 第五頁一錢
發行所 福島縣南郷町五九
發行人 伊藤 隆夫
印刷所 福島縣南郷町五九
電話 南郷新聞社

内郷村議戰展望

全日本に知られたる内郷村の村議戰は炭礦側立候補十三對社外二十三と云ふ大激戰である、由來全村興隆の因は謂ゆる全議員(社側村側)等の一致が要事である其大なる問題としては

- 一、内郷村川底問題
- 二、礦稅の移譲に依る教育費寄附金問題
- 三、會社側に對する戸數割附加問題
- 四、小學校増築問題
- 五、鑛毒問題の再燃

等である以上項目の問題も消き相互の譲歩を見れば一切の論議は抜きとして解決するのである、即ち社側村側と云ふ偏重觀念を捨て、こそ茲に理想的内郷村が現出するのである、筆者は多くの論議を次號に譲るも内郷村の大成は單に村議戰の勝敗に依て決すべきものでない事を斷言して筆を擱く

各候補者の概貌

四倉昌勝氏 候補者 三十四年
四倉氏は稀れに見る經歷を有する舊國家で其大略を記せば、警中出精米業警二回目的有爲の中堅的人物に渡航し約四ヶ年の孤軍奮闘の努力が酬ひられ歸國せられた年少有爲の候補者で氏の如き中堅的人物を村會に送る事は本村として慶賀すべき存在で事務長遠藤米古氏の下に畫策は展開されつゝある。

加藤丈夫氏 候補者 四十六年
平町に加藤氏は貸家業を營み氏の聲價は郡内に隆々たるものがある氏の經歷の一端を記せば警中出身豫備少尉家調學務所得稅委員等の要務を帯び其他各方面に關係を有し内郷村議として欠くべからざる存在だ

久野喜平氏 候補者 五十二年
氏は區長として部落の抱負を有し殊に道路改修にめは献身的努力をばらばらた事は方部人の信用を高め今度も二回目の立候補を遂行され出馬を見た人、將來は本村に公計市場を建設して村民の福利増進に精進したいと夙願した

鈴木佐市氏 候補者 四十一年
鈴木氏は味噌醸造業を業として努力家として一般の敬愛を受けて居る村議たる事代より大正七年迄村事として奮闘された人で、其意として生立つた氏は現に警隊の一勞働者として勞務中にも一面識を有するものは常にして其識見に敬服しつつあつたとの事、今回の立候補も村議に對して大なる抱負を有し殊に道路改修にめは満身の努力を惜まぬと揚れ馬を陣頭に馳せつゝある中堅的人物だ

渡邊安喜氏 候補者 五十三年
渡邊氏は安達郡白岩村の産氏の殿父は居村の戸長時選の榮譽を獲せしめたい眞に悦びを味わせたのみ無關心に觀過出来ようかこれ以上筆者は言わぬ、只當分村治の働向に着目大勢の動きにつれ充分村議として責任ある事を認識す

藤咲房夫氏 候補者 三十四年
社會大衆黨公認として立候補された藤咲氏は氏が言ふ九才の時に両親を失ひ失つて以來今日迄社會と闘つてきたと氏の生きる爲に社會を闘はなければならぬ境遇を用を博し政治上の問題は多く語を避け居るも其間充分村治の働向に着目大勢の動きにつれ充分村議として責任ある事を認識す

永井茂次郎氏 候補者 五十二年
温健なる商人として地歩を進めつゝある今回が初めて方部の公認として推薦され馬を陣頭に馳せつゝある中堅的人物だ

志賀留吉氏 候補者 五十四年
氏は雜貨商として近隣の信用を博し政治上の問題は多く語を避け居るも其間充分村治の働向に着目大勢の動きにつれ充分村議として責任ある事を認識す

大友寅吉氏 候補者 四十四年
氏は社會の辛酸を経たる人物丈實地に付堅實の人なり私設火防組合新設に關し自ら組頭として動きたる功績を認めし、今更前金貯金組合長現家庭調査委員其他の名譽職に在り氏の堅實たる格調は大衆一般に待つべきものあり

生田常弘氏 候補者 六十三年
氏は既に批評の硬骨を以て知る不言實行の老練村議として論評を用せず年然時代の推移に着眼して他人の言葉を案分して善進せば村に裨益する事多大なるべし

小松定次郎氏 候補者 五十三年
氏は洋服業として純實業系二回目の出馬なり多年全地組合長として努力し来たる点質に見るべきものあり性温厚にして實行の人なり村議として申分なき事は象評の知る所なり、小西事務長等有志の面々に活動の眞情又故なきなりと信す

草野三千雄氏 候補者 四十一年
氏は眞に温厚の人格者なり多年郵便局長として人望高し村内の年々衰運に傾くを憂慮し悲壯なる決意を以て一村に實献せんとする意氣一紙に實紙に現にせざるものあり、今回白紙を以て出馬したる衆望の活目大に見る可きのあり

廣瀬貞氏 候補者 三十七年
廣瀬氏は無産黨より身を起し立派に堂々と前回は當選された榮ある人で今回が後任の地務をかためるが爲の意金甚だ眞面目なる物あり、事務長坂寄清一郎氏の奮闘亦見るべきものあり

馬目子之松氏 候補者 五十八年
氏は本村四期目の村議に既に試験済の人物なり只後任の地務をかためるが爲の意金甚だ眞面目なる物あり、事務長坂寄清一郎氏の奮闘亦見るべきものあり

金澤爲喜氏 候補者 五十二年
氏は現助役として精勵格勤の人村議としての大人物たる事案評の通りである

佐藤作藏氏 候補者 四十六年
氏は前警隊炭礦組長として在職十年辭して現在農業を本業とし失業者救済に滿腔の力を注ぎ現に其の救済委員たり、今回の村議出馬にては衆望の集る所以なきなり

宮本鐵太郎氏 候補者 五十一年
氏は日露戰役高榮嶺の激戰(以下二面へ續く)

和洋洗濯洗張色場の御用命は!!!
親切、迅速、丁寧をモットーとする
森西洋洗濯店
湯本町 古山眞眞館郷

(一面より續き)

に兩脚を没す國家に捧げた
る赤誠に特筆を要せず歸
來不自由の身に拘らず克
居村の凡てに心を注ぎ學
兒童通學の爲高坂校より内
町に至る村道の開通に努力
又欠食兒童の爲先んじて
多額献金を爲し村内の大恩
人として尊敬されつゝ、在
事は周知の事實なり、現縣
共済會委員家屋税調査委員
たり又四期の區長を経て德
望高し今回字内の人々の切
なる勸説に村議として立つ
氏の如き人格者を出したる
は實に内郷村の大なる誇り
とすべき所なり

候補者
山崎喜一氏
四十三年
より功績決して鋭氣あり
前在郷軍人分會長たる頃
館主として最も忠實の人た
知られたる名なり氏は其の
高坂坑務務派副主任

候補者
磐城炭礦を
代表すべき人々
磐城の内郷か、内郷の磐
炭かを惟はしむる大磐炭を
代表して出馬する人は十三
名何れも經歷に人格識見に
申分なく約半数の議員を村
に送る敢て不慮議ではな
い、定員三十名に對する半
數に充たざる十三名の立候
補せしめた磐城首腦部の深
慮は美点として敬意を表す
るに價がある、何となれば
全力を集中して過半数を村
議に送るあなちも不可能で
ないからである、そこに炭
坑と村民が温たき握手が續
けられる所謂なのだ、

候補者
大越勝之助氏
五十年
氏は實力の人、始期の出
馬なるも多年蓄せる實腕
は人の知る所なり眞面目な
る篤農家として本村になく
てならぬ人材なり、前區長
三年を経て益々聲望高し家
調委員の要職に在り圓滿の
人材として立派なる公僕に
なる人なり

候補者
島田兼吉氏
五十一年
氏は醫師會長として既に定
評あり村議として三回の出
馬、木村の重慎として自他
共に許す大人物なり、村治
の速川等氏の鐵腕に待つべ
きもの甚だ多し

候補者
猪狩喜平次氏
四十三
高坂坑々長
三澤義則氏
四十四

候補者
佐川芳松氏
四十九
務務本部事務主任
田中義江氏
四十五
第三斜坑々長
小野昇氏
四十四
町田坊坑長
長谷川幾之助氏
務務課技師
上原四郎氏
三十七
運輸課主任
石橋弘毅氏
四十三
務務課高坂主任
新谷彦資氏
四十五
建築事務主任

候補者
山崎喜一氏
四十三
より功績決して鋭氣あり
前在郷軍人分會長たる頃
館主として最も忠實の人た
知られたる名なり氏は其の
高坂坑務務派副主任

候補者
大越勝之助氏
五十年
氏は實力の人、始期の出
馬なるも多年蓄せる實腕
は人の知る所なり眞面目な
る篤農家として本村になく
てならぬ人材なり、前區長
三年を経て益々聲望高し家
調委員の要職に在り圓滿の
人材として立派なる公僕に
なる人なり

候補者
島田兼吉氏
五十一年
氏は醫師會長として既に定
評あり村議として三回の出
馬、木村の重慎として自他
共に許す大人物なり、村治
の速川等氏の鐵腕に待つべ
きもの甚だ多し

候補者
島田兼吉氏
五十一年
氏は醫師會長として既に定
評あり村議として三回の出
馬、木村の重慎として自他
共に許す大人物なり、村治
の速川等氏の鐵腕に待つべ
きもの甚だ多し

候補者
猪狩喜平次氏
四十三
高坂坑々長
三澤義則氏
四十四

候補者
佐川芳松氏
四十九
務務本部事務主任
田中義江氏
四十五
第三斜坑々長
小野昇氏
四十四
町田坊坑長
長谷川幾之助氏
務務課技師
上原四郎氏
三十七
運輸課主任
石橋弘毅氏
四十三
務務課高坂主任
新谷彦資氏
四十五
建築事務主任

候補者
山崎喜一氏
四十三
より功績決して鋭氣あり
前在郷軍人分會長たる頃
館主として最も忠實の人た
知られたる名なり氏は其の
高坂坑務務派副主任

候補者
大越勝之助氏
五十年
氏は實力の人、始期の出
馬なるも多年蓄せる實腕
は人の知る所なり眞面目な
る篤農家として本村になく
てならぬ人材なり、前區長
三年を経て益々聲望高し家
調委員の要職に在り圓滿の
人材として立派なる公僕に
なる人なり

候補者
島田兼吉氏
五十一年
氏は醫師會長として既に定
評あり村議として三回の出
馬、木村の重慎として自他
共に許す大人物なり、村治
の速川等氏の鐵腕に待つべ
きもの甚だ多し

候補者
島田兼吉氏
五十一年
氏は醫師會長として既に定
評あり村議として三回の出
馬、木村の重慎として自他
共に許す大人物なり、村治
の速川等氏の鐵腕に待つべ
きもの甚だ多し

古川 定兵衛
面川 龜之助
管波 康太郎
長谷川 西次郎
豊田 美孝
青木 公丸
鈴木 幸次郎
鈴木 末吉
須藤 久太郎
小港 宗吉
吉田 彌十郎
植田 萬次郎
長谷川 寅次郎

内郷村
有権者數
小島有権者數 一一九
御殿 二二八
綴根 五二九
濱井場 四六二
内町 一八二
川平 四三〇
川中 四三〇
蜂根 四三〇
平太郎 四二〇
竹の内 二八〇
町田 二六〇
瀧 一三七
蛸子 八六
宮ノ澤 四〇二
宮ノ澤字代 一一六
金坂 一四〇
御殿 四九一
立野 二〇二
御殿境 八三
總有権者數 四九九九
内失格者 四四五
在現(會社) 二二〇
在現(村民) 二二五

當選御禮
神谷村會議員
鈴木庄之助
鈴木善之助
西山喜太郎
佐藤新次郎
鈴木秀吉
志賀龜作
赤塚半五郎
中野辰之助
榊原幸多
鈴木與右門
佐藤長次

當選御禮
吉田 壽三郎
鈴木 賢二
長谷川 長太郎
金成 岩吉
大和田 安太郎

宮津醫院
小名濱町西町
電話百四十二番

上田科外醫院
外科專門
レントゲン科
病室の設備入院應需
電話一九番

佐瀨醫院
小名濱町中島
電話百三拾五番

中村醫院
内科・外科
花柳病科・小兒科
レントゲン科開設
病室の設備あり
資本金九百萬圓
福島縣支金庫
小名濱町金庫
株式
七十七銀行
小名濱出張所 電話五番

小名濱分店
電話一九番

大谷酒
町南町平
電話四六六番

寶屋商店
小名濱町米野
電話一九番

鈴木眼科醫院
眼科專門
植田町